




2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- ① スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- Ⅲ スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- Ⅳ 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- ⑤ スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福岡県】

学校名【春日市立春日東中学校】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	春日市立春日東中学校 第3学年 5クラス 男女 (183人)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの歴史や価値、競技種目を知り興味・関心を高める。 ・ブラインドマラソンを通して、どんな人たちとも支え合い、共に生きていくことの大切さを感じる心を育てる。
5 取組内容について	<p>【事前学習として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内掲示物・長期休みを利用しレポート作成 ○全3時間の単元計画で実施 1時間目 オリンピック・パラリンピックの歴史や価値、ブラインドマラソンについてパワーポイントを使って学習し、興味関心を高めた。 また、アイマスクを用いて、視覚が遮られた状態の体験を行い、聴覚からの情報が重要であるということを確認した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>

	<p>2時間目 グラウンドでのブラインドウォーキング体験 ペアを作り、実際に校内の持久走大会コースをウォーキング。「きずな」ははちまきで代用し使用。きずなの使い方や伴走するときに注意することを学習した。体験後はお互いに気付いたことや感じたことを伝え合い、「よりお互いを信頼し、マラソンを行うには何が必要なのか、情報の伝え方に工夫をすることはあるのか」についてペアワークを行った。 その後、グラウンド内のランニングを行い、走る感覚を身につけた。</p> <p>3時間目 お互いの距離感や腕の振り、歩幅や情報の伝え方等の工夫を行い、持久走大会コースを使用しマラソンを行った。 50mレーンに数台のハードルを置き、障害物として見立て、上手く回避するための伴走者のサポートを学習した。 ブラインドマラソン体験を通して、共生社会に必要な考えや気づきについてグループトークをした。</p>    
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めることができた。 ○ブラインドマラソンへの知識や関心が高まった。 ○どんな人でもよりよく生きていける共生社会になるために、自分に何ができるのか、考えが深まった。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○校内掲示や夏休みのレポート作成を通して事前にオリ・パラへの興味関心を持たせた。 ○持久走の授業で走ったコースを使用 ○「きずな」はハチマキを代用
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●実際にアイマスクに慣れ、マラソンができるようになるまでには至らなかった。 ●ブラインドマラソンを行う際のコース設定、階段や坂道等があったため、ある程度のスピードを維持したまま走り続ける体験が難しかった。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>ブラインドマラソンについては、実施予定はないが、校内掲示や図書文庫等を利用して、オリンピック・パラリンピックについては、情報提供していく予定である。</p>